



「学び」をつなぐ

副校長 棗 まゆみ

コロナウイルス感染症の感染者数の増加が日々報じられていますが、コロナ禍3年目の今年の1学期は、今まで以上にいろいろな活動を実施することができました。どの学年も昨年より多くプールに入ることができた水遊びや水泳学習。シャワーを浴びたり、プールに入ったりするときにも子供たちはしゃべらないように気を付けながら、水に慣れ親しんでいました。4年生は高井戸清掃工場見学をクラスごとに見学にも行きました。6月下旬からは猛暑日が続く熱中症対策も必要になりました。学校では、熱中症予防指数が分かる「熱中症指数計」を活用し、子供たちが校庭や体育館等で安全に活動できるようにしてきました。光化学スモッグ注意報もできるようになり、急な活動の変更も何度かありました。子供たちはとても残念がっていましたが、安全第一です。状況を説明すると、納得し教室に戻って違う遊びや学習に切り替えていた子供たちの姿に、子供たちの柔軟さを感じました。

2週間ほど前、1年生が生活科の学習で「シャボン玉づくり」を校庭で行っている様子を見ました。子供たちは、自分が持ってきた団扇の枠や、段ボール、ストロー、ハンガーなどを使って、自分が作りたいシャボン玉ができるようにいろいろと工夫して活動していました。シャボン液をゆっくり付けて、走ってみたり、息を強く吹いた

り、弱く吹いたり…。試行錯誤を繰り返しながらシャボン玉づくりを楽しんでいた子供たちは、「できた!」「大きいのができない。」「割れちゃった。」「どうしたらよいのかな?」「段ボールだとたくさんできる。」など、発見したことや疑問に思ったことをつぶやいていました。

先日の全校朝会では、校長先生から「大きなシャボン玉の作り方」についての講話がありました。白衣を纏った校長先生の姿を見た児童は、興味津々。大きなシャボン玉を作るための液の比率などについて説明を聞いた後、校長先生が実際に大きなシャボン玉を作ったときには、歓声と拍手が沸き上がりました。大きなシャボン玉の実物を見ることができ、自分もやってみよう!と感じた瞬間でした。1年生にとっては自分たちが最近学んだことにつながる内容なのでさらに興味・関心をもつ「きっかけ」になったのではと思います。

子供たちは日々、様々なことを学んでいます。1学期の学びを、子供たちが自分の生活経験とつなげたり、感動したり、興味をもったりした「きっかけ」を、次につないでいけるよう、御家庭でも、ぜひ話し合ってみてください。

長い夏休みが始まります。御家庭で、より良い時間をお過ごしください。二学期、元気な子供たちに会えることを楽しみにしております。

夏休みの生活について

生活指導部

先日、「夏休みを楽しく過ごすために」というプリントを配布しました。

- ① 安全な生活を・・・交通事故、水の事故、犯罪にまきこまれないための意識をもたせるように。
- ② 健康な生活を・・・規則正しい生活を継続して、感染症対策にも自ら意識できるように。
- ③ 災害に備えて・・・気象情報を意識すること、防災について確認をすること。

夏休みは「自分の身を自分で守ろうとする意識付け」をする絶好のチャンスです。楽しく、充実した夏休みとなるような過ごし方を御家庭で話し合う時間を設けてください。

☆ 子供たちにとって2学期へのエネルギーを蓄える「夏休み」になるよう、声を掛け、手を掛け、時にはぎゅっと抱きしめてもらえればと思います。